

## 平成20年度事業計画書(案)

### 1. 研究交流活動の充実

今年度も研究交流特別委員会を継続して研究交流活動支援を強力に進めると共に、共同研究企画・交流活動企画の公募を行い、研究交流助成費を交付する。

### 2. 出版活動の推進

新たに出版特別委員会を設置して、本学会の出版活動について研究を深め、具体的な出版物の企画・刊行も検討する。

### 3. 社会的活動の充実

各支部および本部で都市計画に関連する様々な分野との連携強化を図る活動を更に積極的に展開するとともに、学会の様々な広報活動を充実して、学会社会活動のより一層の活性化と組織充実を図る。

### 4. 国際的学术交流の充実

平成20年8月21日(木)～23日(土)の3日間にわたり、韓国全州市で国際都市計画シンポジウムを開催する。この他内外の関係学協会との学术交流を進める。

### 5. 都市計画 CPD 教育の充実

事業化3年目となる都市計画 CPD 活動を円滑に運営し、更に内容の充実を図る。

### 6. 機関誌等の刊行

機関誌「都市計画」を隔月刊行(年間6冊)する。また都市計画論文集(CD-ROM・2枚及び冊子1冊)、都市計画報告集(CD-ROM・1枚)を刊行する。

### 7. 学術研究論文発表会の開催

平成20年11月8日(土)、9日(日)の2日間にわたり、北海道大学キャンパスにおいて行う。

### 8. 都市計画セミナーの開催

平成21年1月27日(火)、28日(水)の2日間にわたり、早稲田大学国際会議場において行う予定。

### 9. 月例懇話会及び見学会の開催

外部講師による懇話会を年3回、及び現地見学会を年1回行う。

### 10. APPR の刊行

Asian Pacific Planning Review を、2冊編集・刊行する。1冊目は「人口構造の転換期における都市・地域計画」のテーマで、平成20年8月を目途に刊行する。

### 11. 海外向け「ニュースレター」による情報発信

我が国の都市計画事情を海外の関係学協会・研究機関等に紹介するとともに、相互の情報交流を目的として「CPIJ ニュースレター」をホームページ上で公開する。

### 12. 学会賞、功績賞・国際交流賞の選考

都市計画の論文や計画設計等の中より優秀なものを選考し学会賞を授与する。  
都市計画の進歩発展に寄与するもの、国際的交流に貢献したものを選考し表彰する。

### 13. 委員会活動・支部活動

学会の事業遂行のため必要な委員会活動及び支部活動を行う。また本学会発展のため検討を進めてきた北海道支部を設置し、更に東北支部創設の検討準備を進める。